

平成20年度第2回安全・安心・生きがい部会

□開催日時 平成20年10月9日(木) 13時30分～15時15分

□会場 区役所プレハブ会議室

□参加委員

専門部会A委員：松世三重子部会長、三浦敏博副部会長、荒井康男、猪股清二、
高瀬芳江、綱川幸子

事務局(企画課)：渡邊、小池、小出、齊藤、吉田

□議題

1. 「地域防犯活動の推進」について
 - (1) 幸区内の犯罪発生状況等の現状説明
 - (2) 質疑応答
 - (3) 地域防犯活動の意見とりまとめ
2. その他

(事務局)

会議公開の対象になっているので、議事録の作成や会議の様子を写真撮影して状況を伝えていくのでよろしくお願い致します。本日、幸警察署生活安全課の小嶋課長にいらしていただいています。

幸区内の犯罪発生状況等を説明いただいた後、審議を行っていきたいと思います。進行を部会長にお願いします。

(松世部会長)

第2回全体会議までの流れについて、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

第2回全体会議までに、どこまで審議がなされればよいかということについて、次回の全体会議では、部会の中間報告をできればと思っています。

中間報告をどのようなものにするかということで、第1期の区民会議の中では、検討事項の絞り込みを行った上で課題の洗い出しを行い、課題に対する解決の方策の方向性までを決めて頂いて中間報告を行ったと聞いています。全体会議に報告をして、それぞれ意見を頂いて、また部会に持ち帰って、部会で議論を深めてもらう。部会で議論が深まったところで、提言案をまとめて、第3回全体会議で発表していきます。

全体会議の前に十分な検討の時間を確保するために第3回検討部会を行って、方向性まで絞り出すことを行ってもらおうと考えています。第3回の部会を10月末か11月の初めに開催して、第2回の全体会議を11月末から12月の初めに実施したいと考えています。日程は、企画運営部会に諮って決定となります。

(松世部会長)

事務局から、もう1回部会を開いてから全体会議に報告するという提案がありましたが、皆さんいかがでしょうか。

⇒(異議なしとの声あり)

(松世部会長)

A部会としてもう1回部会を開いてから全体会議に臨む形で企画運営部会に諮りたいと思います。

では、本日の協議事項に入りたいと思います。幸警察署の小嶋課長に来て頂いているので、区内の防犯・犯罪発生状況について説明して頂きたいと思います。

1. 「地域防犯活動の推進」について

(1) 幸区内の犯罪発生状況等の現状説明

(幸警察署 小嶋課長)

幸警察署管内の刑法犯、犯罪の認知件数についてですが、発生件数ではなくて、認知件数と呼んでいます。これは、警察に届けられた数、つまり、警察が認知した数です。届け出がなければ、警察では認知できません。認知件数は、8月末までの統計では、1,352件。昨年と同時期と比較して105件、割合にして8.4%も増加しています。何が増加しているのかというと、自転車盗が一番多いです。その次がオートバイ盗。自転車盗は、8月末までに376台警察に届けられました。昨年に比べて45件の増加。万引きは、188件。これは、昨年と同時期に比べて25件の減少。次に多いのが、オートバイ盗で、79件で、25件の増加。幸区内で発生している件数が多いのが、自転車盗と万引きで、刑法犯の認知件数の42%を占めています。

自転車盗は、毎日1.5台が被害にあっている計算になります。なぜこんなに多いのか分析するため、376件のうち鍵をかけているのか、かけていないのかという調査をしました。鍵かけをしないで盗まれているのが、202台。鍵をかけていたが盗まれたのが、174台でした。鍵をかけないで止めっぱなしの自転車が盗まれていたのが、半数以上を占めています。買ったときには鍵がついているのに、それをかけないで止めておいて盗まれてしまったということになります。防犯意識が軽視されているのではないかと思います。つい2日前に一度に5台ぐらい盗まれました。被害場所は、今年の4月までは、駅の近くの駐輪場で盗まれていました。駐輪場対策という形で、通勤・通学時間帯に自転車盗のキャンペーンをやったりしました。

「安全・安心まちづくり推進協議会」から防犯の緑のベストを60着ぐらいもらって、駐車監視員に着てもらい、駐輪場利用者に施錠の声かけを行いました。区役所に働きかけて、駅周辺の歩道で放置自転車対策を、週に2回ぐらいだったのを3回に増やしてもらったりして、駅周辺の対策を強化したところ、駅周辺の被害が若干減ってきました。駅周辺の駐輪場での自転車盗は、若干減りましたが、反対に今多く盗まれている場所が、自宅の敷地内やマンションやアパートなどの共同住宅の敷地内にある駐輪場です。そういう場所で盗まれる自転車は、鍵がかけられていません。自宅に置いてあるから大丈夫だろうという状況で盗まれています。「自転車盗難にご注意」という看板をラゾーナの電光掲示板に出しています。また、駐輪場に「自転車盗が多いので、鍵をかけましょう」という看板を設置しています。警察独自で、自転車の防犯診断という表を作ってチェックし、自転車に貼り付ける活動をしています。そういう活動はしていますが、一向に減りません。今警察で一番の課題は、自転車盗を減らすことです。

12月末までには、450件ぐらいになってしまうのではないかと危機感を持っています。昨年は、522台の自転車が盗まれました。電動自転車は、ほとんど盗まれていません。鍵を二重ロックにしていたりするので盗まれず、いわゆるママチャリのような比較的安価な自転車がかなり盗まれています。被害者も盗まれてもしょうがないというような気持ちがあるのではないのでしょうか。

万引きについては、大型商業店舗のラゾーナとか 24 時間営業のドンキホーテとかのショップでの被害が多い。昨年1年間で万引きは、305 件で、今年8月末までは、188 件発生している。ラゾーナが一番多く被害にあっています。100 件以上の増加になっている。ラゾーナだけでどのくらい万引きが発生しているかを調査した。昨年1年間で、146 件。これは、警察で認知している件数。これ以外に注意で終わらせているのを合わせればもっと多いでしょう。今年は、8月末で 89 件になってる。ラゾーナは、飲食店を除く 200 店舗余りが商品の販売をしている店舗で、細々した届け出が出されている。どこのお店が多いのかというと、ラゾーナの中でもビックカメラが一番多くて 20 件。次がロフトで 16 件、その次が、赤ちゃん本舗で 11 件。店舗の管理が行き届いていないから起きるのではないかと考え、これまでに 4 回ほどラゾーナの店長会議に出席しています。そこで「犯罪を起こさせないための工夫をしてください」と何度もも言っています。「万引きは、犯罪である」という県警のポスターを万引き抑止のために貼らせてもらいますと言っています。店舗に何とか犯罪件数を減らす努力をしてもらうための方策をとってもらいたいという話もしてきています。そうすると鎖につなげましょうとか、カーブミラーを付けましたという声も聞きました。店内に私服の警備員だけでなく、「見せる」ために制服の警備員を巡回させてくださいという話をしています。万引きできない店づくりに努力していただいています。ラゾーナに次いで被害が多いのは、ドンキホーテで、24 件。次に多いのが、オリンピックで、13 件。ラゾーナでは、さまざまな犯罪が施設内で発生しています。各フロアに優先トイレという体の不自由な人用のトイレが設置してあり、そこは、スペース的にも広いし、簡易ベッドなどもありましたが、男女で入ってしまったたり、女の子が連れ込まれたりする被害が発生しているので、警察からラゾーナにそういうことに使われないようにと申し入れをしました。トイレの中の簡易ベッドは撤去してもらいました。また、トイレの入口付近に防犯カメラを設置してもらいました。各フロア 2ヶ所ずつトイレがありましたが、現在、各フロア 1ヶ所になっています。警備員も巡回していますが、死角になるような優先トイレは、閉鎖している状態です。先日、ラゾーナからそろそろ解除してもらいたいという話があり、それなりの安全対策をとってくれればと回答しました。万引きをして逃げた場合、他のお客にも迷惑がかかりますし、2次被害が起きると困ります。

最後に振り込め詐欺が神奈川県内ですごく増えている。8月末までは、東京都がワースト1でしたが、警視庁が ATM すべてに警察官を配置したところ、9月に神奈川県がワースト1になってしまいました。10月に神奈川県警でも同じように振り込め詐欺防止対策として、多く振り込まれている ATM に警察官の配置を行っています。県内の警察署全部でやっております。幸警察署でも幸区内にある 85ヶ所 ATM のうち、被害にあいそうな場所に配置をしています。幸区内でも9月までに 42 件約 3,000 万円近い被害が出ています。一番多い被害がオレオレ詐欺。以上、幸区内の犯罪の発生状況について御説明させていただきました。

(2) 質疑応答

(松世部会長)

犯罪発生状況の説明について、皆さん御質問等がありましたら出してください。

(荒井委員)

幸区は、川崎市内でみて、犯罪の種類が片寄りや特徴がありますか。

(小嶋課長)

幸区は平地なので、自転車に関係する犯罪が多いです。多摩区や宮前区、麻生区だと坂が多いので、自転車の盗難は少ないです。一番多いのは、川崎区で 710 台ぐらい。幸区・中原

区・高津区も自転車の盗難が多い。ガソリンが値上がりしてから、自転車を使用する人も増えたのではないのでしょうか。雨でも自転車を利用する人はかなりいます。駐輪場は、いつも満車状態で、歩道や路上にあふれてしまうので、盗難も多いのではないのでしょうか。

(荒井委員)

小学生を持つ親から認知ということで、周辺の街頭犯罪(わいせつ行ため)など届出がされているのか教えてください。

(小嶋課長)

小学生ぐらいの子どもが一番声をかけられやすいです。女の子に限らず男の子にも声かけ事案があるようです。自転車で帰る途中、いきなり自転車を止められたり。追い越しざまに肩をたたかれたり。公園で遊んでいる際に何か買ってやると声をかけられたりもするそうですが、そういうのについていって被害にあうケースは、起きていません。声かけ被害がないわけではなく、学校で先生に話して、届出があります。事件が発生してすぐならば、犯人を捕まえられる可能性があります。1~2時間経ってからこういうことがあったと聞いても、もう現場にいないです。

(高瀬委員)

いつも言っていることですが、起きてからでは遅いんです。昔は、おじさんやおばさんが「何やってるの」と声を掛けていましたが、最近では、大人が無関心だと感じます。

(小嶋課長)

110番通報でよく「たばこを吸っている子がいるので注意してくれ」とかかってきます。見た人がなぜ注意してくれないのかなと思います。「こういう子どもがいて、深夜まで遊んでいる」とか、「少年がたむろしている」とか。少年法では、11時が門限と決まっているが、9時ぐらいでも子どもが集まっていると何か悪さをしているのではと通報してくる人もいます。実際行ってみると中学生ぐらいの子どもが4~5人ぐらいが、ただ集まって話しているだけであったりすると11時前なので、補導の対象でもなく、反対になんで警察が来るんだと言われてしまいます。

通報者は、たいがい匿名なのでわかりません。中には、自宅で自分の息子がたばこを吸っているのを注意してほしいという電話があったりします。

(高瀬委員)

親も周りの大人も自分に関係ないことはタッチしないでいようとしていることが犯罪を招いているのではないかと考えています。マンションでも防犯カメラを付けることを望んでいます。お金がかかることなので、早急にはいきません。エレベーターの中とか入口とか、人の目に触れない場所は、集まりやすい。大人が注意しないと当たり前になってしまう。皆が皆悪いとは、言いませんが、家庭では、夜9時~10時までには帰ってきなさいというのが普通だと思います。親の意識を変えないといけないのではないのでしょうか。

(小嶋課長)

そういうお子さんを補導して、保護者に迎えに来てほしいと連絡しますが、ちゃんと来る保護者ならよいですが、そんなの迎えに行けないから勝手に帰してくださいという人がいたりします。

(高瀬委員)

大人が声を掛けて注意する方法ですが、無造作に帰りなさいというのではなく、良い方法はないのでしょうか。

(小嶋課長)

声かけは難しいです。「こんな時間だから、早く帰りなさい」といきなりは、言いません。「今、何やっているのよ」と悪いことをやっているような言い方はしません。子どもたちの声を聞くようにしています。普通に話しかけると子どもも答えます。そういうときに「持っている物見せてよ」と話す。タバコは、今買えないので、どこで入手したのか聞いています。「親のタスポを使った」とか答えます。

(高瀬委員)

あいさつは、何の気なしに「おはようございます」とか言うときがあります。すぐに声を掛けるのをやめてください、と言われます。後で、顔を覚えられて、他の場所で手出しされたら危ないからと。見て見ぬふりができない状況は多々あるので、どんな方法が良いか考えています。

(小嶋課長)

子どもたちの見守り活動とかやっていますよね。小さいころから声を掛けていると、その子達が大きくなって、中学生になっても顔見知りになっているので声を掛けやすいのではないのでしょうか。地域の子どもは、地域で守ろうということなんだと思います。

(高瀬委員)

子どもが小さいころ、子どもの役員をやっていました。そのときのお子さんは、交通安全で道路に立ったりしてしょっちゅう声をかけていたので、大きくなって今でもあいさつしてくれます。こっちが分からなくても交通安全のおばさんと言われる。今の中学生ぐらいのお子さんは、知らないで声を掛けにくいです。

(綱川委員)

少子化という社会情勢の中で、親は子どもを甘やかして育てています。子どもも、もちろん悪いことをしたら注意しなければならないと思います。

私の周りには高齢者が多いので、振り込め詐欺の問題があります。毎月2回集まり、そのときに話が出るのですが、何回も振り込め詐欺のような電話を受けていると。息子が出かけた後に電話してくるし、家庭の状況も分かっているような感じがして気持ちが悪いので、お互い気を付けましょうと話します。知り合いが保険の還付金詐欺で90万円振り込んでしまった。がっかりした様子を見ているので、他人事ではないです。夜は必要以外のときには外出しないようにと、幸区には84の老人クラブがあるので、そういった話をしています。

(松世部会長)

ラゾーナなどの大型店の犯罪発生率が多いということで。中学生の子たちがラゾーナに行くと、万引きするつもりはないのですが、結局自分の欲しい物はそこに揃っているので、万引きする要素がたくさん備えている場所になっています。ビックカメラには、ゲームソフトだとかたくさん置かれているので。万引きを子どもたちがしないように防ぐ方法はないものかと校長先生が悩んでいました。地域でできることがあれば、協力したいと思っています。

(小嶋課長)

子どもたちの万引きの話ですが、最近は、高齢者の万引きも多くなってきています。食料品とかが値上がりしている影響もあるのかもしれませんが、子どもたちの万引きは、減ってもいないが、増えてもいません。むしろ、大人の万引きが増えてきている感じがしています。学校に行って、非行防止教室で話をすることもあります。万引きを遊び感覚でやっている子どもたちが結構いると感じます。万引きも窃盗という犯罪なんだと教えています。店舗の方に万引きされないような体制をやって頂けるとよいです。捕まえるための私服警備員ではなく、万引きを発生させないための抑止策として制服警備員を置いてほしいです。店内で犯罪を起こさせない店づくりをしてほしいです。オリンピックには3日前に注意しに行きましたが、土日は、私服警備員がいて、日曜日に2件の万引きを捕まえてきました。捕まえる前で見ているわけだから、その段階で声掛けをしてほしいと言ってきました。常習・マークしている人がいるからそういう人を捕まえたいのですが、そういう人が来たら捕まえるのではなくて、声をかける方法もやってほしいです。

(高瀬委員)

ドンキホーテは狭くて、たくさん物が積まれていますね。

(三浦副部長)

あれは、あういう形の商売のようです。どこのドンキホーテに行ってもあの形で、ああいっただ販売方針なのでしょう。

倉庫の物を買おうと安いと感じるので、実際にキレイに陳列したら、値段が高いと思ってしまいます。物をどんと置くことで、倉庫だと錯覚させて商売しているようです。

(高瀬委員)

ラゾーナにしてもドンキホーテにしても、すごく人が多いから、とっても構わないんじゃないのという雰囲気を感じます。

(三浦副部長)

店舗側は、お客さんがたくさん来てくれることを望んでいるので、多少の被害は仕方がないと思っているのではないのでしょうか。

(松世部長)

お店として人員的に不足しているということなんですか。不足しているから目が行き届かないのでしょうか。

(三浦副部長)

ドンキホーテでも高級品を扱っているところでは、レジの下のケースに入っています。食料品などの安い物は、箱出して置いています。

(高瀬委員)

盗ってもいいよというように置いてあるのは、どうかと思います。

(小嶋課長)

防犯カメラについて、50台では足りないので、もっと付けて欲しいということで、70台ぐらいになりました。ただ、店長が半年で替わるので、顔なじみになっても、また始めからになってしまいます。

(三浦副部長)

資料の確認をしたいのですが、オートバイはナンバープレートがあって問題ないが、自転車が盗まれたとき、防犯登録されているのでしょうか。

(小嶋課長)

ほとんどがされています。

(三浦副部長)

オートバイは、部品が盗まれるのですか、それとも全体ですか。

(小嶋課長)

車体すべてです。

(三浦副部長)

盗られたオートバイの行き先はどうなっているのでしょうか。

(小嶋課長)

オートバイは、放置されることが多いです。自転車は放置もあるが、あまり見つからない。

(三浦副部長)

ラゾーナ等の店舗で万引きをする人は、幸区内に住んでいる人が多いのですか。

(小嶋課長)

ドンキホーテは、区内が多くて、ラゾーナは、都内の人もいて、幸区内の人に限ってはいないです。

(三浦副部長)

店内だけで犯罪の案件を済ませる場合もあるのですか。

(小嶋課長)

事情聴取で2時間くらいかかってしまうので面倒という場合とか、お金を持っているのに万引きをしている場合とかがあって、そういう人は、買い取りをしているみたいです。

(三浦副部長)

振り込め詐欺の件ですが、曜日や時間等の発生の傾向がありますか。

(小嶋課長)

平日に発生していて、曜日は特に決まっていません。発生している時刻は、10時～15時までが多いです。

(三浦副部長)

児童に声をかけてくる犯罪の話で、実際に被害にあった子どもたちに実際にモニタージュを作ったりしていますか。

(小嶋課長)

保護者立ち会いでやっています。

(松世部長)

こういうことがあったと保護者に一斉に情報が携帯電話に入ります。

(事務局)

高津区には防犯のNPOがあって、そこに登録をしておくパソコンとか携帯に情報が入ります。情報を共有しないとだめですが、どこどこでなんかあったと1日2~3件ほど情報が入ってきます。

(三浦副部長)

学校長から要請があったら、犯人のモニタージュを見せるのですか。

(小嶋課長)

見せないと思います。

(荒井委員)

振り込め詐欺と自転車の盗難が多いとのことですが、区民として、犯罪を0にしていきたいと思います。自分たちがこれから何ができるか考えていく上で、警察から見て、防犯団体もいろいろありますが、こういう案件に対して区民にはどういうことをやってほしいとかありますか。

(小嶋課長)

防犯意識の向上を一番に挙げたいです。自転車を例に挙げると、せっかく鍵がついているのならば、必ず鍵をかけてほしい。鍵がかかっている場合もあるが、鍵をかけないで盗まれているのが半数以上なので。自らは自らで守るということです。自主防犯意識を向上させる。これは、自転車だけに限らず、出かけるときは戸締まりをすることなども含まれます。犯罪が多発していることを認識し、まず自分の身には起きないだろうという意識を捨てる必要があります。バッグを車道側に持っていたらひたくられるかもしれないので、壁側に持つとか、自転車で買い物に行くときに持っているバッグを自転車籠に入れる場合には、ネットをかけるなど、自分で被害防止を考えることが重要です。

(猪股委員)

青少年の犯罪防止のための声かけや、他の地域でもこんなことをしているという例が何かありますか。

(小嶋課長)

幸警察署に来る前に横須賀警察署に勤務していましたが、各町内会に防犯部長という人がいて、定期的に8~10人ぐらいでパトロールをしていました。ドブ板通りとか米軍基地があるから、より重点的に地域一体となって防犯パトロールをしています。幸区に来てからは、腕章

付けた地域の方がパトロールをしている姿をあまり見ないです。地区で温度差があるように感じています。自分たちの町内会は自分たちで守るんだという意識の元に、1ヶ月に2回くらい廻ってみると地域の実態が分かります。自分たちで町内を歩くと防犯的なことが良く分かります。自分たちも呼ばれて一緒に歩いたりしていました。懐中電灯を持って、防犯のベストを着て、防犯活動をしているのを見ると、空き巣犯などはその地区ではできないと思います。町内会単位でいいので、防犯活動に力を入れて積極的にやってもらいたいです。

(猪股委員)

区内でもパトロールを実施しています。私が住んでいる地区の町会では、2年前から、男性は夜が主体で、昼は子ども会のお母さん方やご近所の都合のよい方がパトロールしています。

資料1の中の幸区で検挙した青少年犯罪の年齢の内訳をみて驚いたのが、15歳以下が約半数である点。16～19歳が約半数。地域を明るくするためには、青少年の健全な育成が必要条件だと思っています。15歳以下は中学生だと考えていいと思いますが、16～19歳というと年齢的には高校生から大学生の1・2年生でが入ると思いますがどうですか。

(小嶋課長)

16歳以上は高校生以上ですが、大学生はいません。定時制高校生とあと無職で、大学生の犯罪はほとんどありません。大学生が検挙されたのは、1件ぐらいでした。

(猪俣委員)

高校生に絞ってもいいし、中学生に絞ってもいいですが、非行グループに入って困っているというようなことを先生に相談することは、皆無だろうと思います。真面目な子が先生に相談するというと、進学とか学業のことについて相談する。そうでない生徒は、あまり先生と接触したがる。非行グループに入ってしまったという内容で警察に相談される例はありますか。

(小嶋課長)

直接少年からはないです。保護者からは少数ありました。

(猪俣委員)

子ども自身が誰かに相談したいことがあると思いますが、まず、学校の先生には相談しないということを知っていたので、警察に相談する場合があるのかと思って聞いてみました。

(三浦副部長)

関連して、青少年の中で、不登校との関係もありますか。

(小嶋課長)

そうとも限りません。ただ、遅刻している子はいます。学校に行っても授業をまともに受けていないということです。

(松世部長)

幸防犯指導委員会とか幸女性防犯推進委員会や幸地域防犯連絡所協議会は、警察署が関係機関になっていますが、どんなことをされているのですか。

(小嶋課長)

幸防犯指導委員会は、防犯のキャンペーンをやったり、防犯パトロールをしていただいたり、防犯のポスターを貼ったり、青色パト（広報車両）で防犯広報をしてもらっています。幸女性防犯推進委員会も幸防犯指導委員会とほぼ同ような活動で、地域で、子どもの見守り活動をしています。幸地域防犯連絡所協議会は、町内会の会長さんたちが警察と町内会の連絡をしています。幸女性防犯推進委員会も町内会から推薦されています。

(3) 地域防犯活動の意見とりまとめ

(コンサルタント)

犯罪は、起きてからでは遅いというのが大前提であって、不安材料として青少年の話や万引きや振り込め詐欺というのが出ています。青少年で問題とされたのは、親とか周りの大人の無関心さが犯罪を生むのではないかという点。近所で声を掛けるべきなのにつけられない無関心さや少年がたばこを吸ったり飲酒をしたりするのを見て、自分で声をかけずに110番通報する人が多いということが指摘されました。周りの大人の意識を変えていくことが必要。

今後の課題として、大人が注意の仕方・方法を学ぶこと。少年たちとうち解けるためにも、あいさつは重要ではないかということ。小さいときから声かけをすること。子どもの相談を受ける場が必要であること。以上の意見が出ました。

万引きについて、ラゾーナやドンキホーテが万引きを誘発するような環境になっているのではないかという意見が出されました。万引きは犯罪であると学校で教育すること。万引きしにくいお店の環境づくりを進めること。以上の意見が出ました。

振り込め詐欺は、巧妙になってきていて、高齢者の方が見破るのが難しいこと。個々人が防犯意識を持たないといけないこと。自分の町会は、自分で守ろうという地域の意識向上が犯罪抑止につながる。以上のような方向性が見えてきているのではないかと思います。

(松世部会長)

では、資料6で前回の部会の内容確認をお願いします。

(三浦副部会長)

資料6が前回皆さんが発言した内容です。

(松世部会長)

「地域防犯活動の推進」の検討事項の絞り込みに移りたいと思います。このテーマは荒井委員からの提案があったものなので、初めに意見ををお願いします。

(荒井委員)

我々市民ができることは、犯罪が起きてからどうするかではなくて、犯罪予防が市民の取組です。いろんなことを認識していて、具体的にどうすればよいかというのが検討課題だと思います。我々と警察の感覚が若干ずれが生じていると感じました。地域自主防犯団体がこれだけあって、これだけ活動しているにもかかわらず、幸警察署では、幸区では防犯活動が希薄だと感じているということでした。これから我々がやっていきたいことは、防犯ボランティア団体の人数とか書かれていますが、その活動実態を知りたいということです。活動している団体の活動内容にバラツキがあるのではないかと思います。活動があまり進んでいないところは、これから活性化を促していくことが必要ではないでしょうか。

(松世部会長)

防犯活動をしているのに犯罪が減らないのは、どこかに原因があるのではないのでしょうか。

(猪股委員)

いのちの電話とか、相談を受けている所がありますね。保護司の仕事の1つとして、罪を犯して、服役も終わって、更生の段階でお手伝いをしているということがあります。青少年の育成について考えていますが、どちらかというとも真面目でない学生が、相談するような窓口をボランティアで作ったらいいのではないかと思います。幸区に1ヶ所か2ヶ所そういう場があって相談に乗ってあげることができるのではないのでしょうか。

(松世部会長)

保護司をしています。罪を犯した人が来ますが、罪を犯す前にくい止めたいと感じています。犯罪の一手手前でやめさせてほしいと思います。

(猪股委員)

大人の対応について、どうすればいいかわからないですが、昔は、子どもは親の背中を見て育つという言葉がありました。子どもに対してああしろ、こうしろとあまり言わないで、自分が仕事をしていれば、子どもも勉強するだろうと思います。

(松世部会長)

罪を犯した子どもの中で、親から本当にしかられたことがないので、本気でしかってほしいという声が一番多かったです。

(高瀬委員)

親が働け働けで育ったお子さんが、今は中学生の親になっています。親の背中を見て働いてはいるのですが、家の中が無関心です。親のいないときは、何をやっても良い状態です。

(荒井委員)

市民の活動では、幅広くカバーするのが難しいので、焦点を絞った方がよいと思います。青少年の話がかなり強いようなので、振り込め詐欺とか自転車盗難とかは警察に任せて、青少年の犯罪防止という点に絞って、どうするかという視点で、既存の組織・団体を活性化し、後押しをするようなことを考えたいです。

(三浦副部会長)

資料では、パトロールの地域や時間帯は出ていますが、どういうことに重点を置いてパトロールをしているのか出ていません。パトロールの内容が分からないので知りたいです。

(荒井委員)

パトロールの内容についてアンケートをとって、アンケートの内容について検討しましょう。

(三浦副部会長)

パトロールをしている方たちに横の繋がりはあるのですか。こういう事件があったとか情報交換はありますか。

(事務局)

情報は行っているはずですが、会っている頻度がどのくらいなのかは分かりません。

(コンサルタント)

犯罪が起きてからでは遅いというのが大前提で、犯罪に巻き込まれないような取組をする必要があります。そのために現状を把握することが必要で、具体的に地域の防犯活動はどんなことをしているのか把握してから方向性を考える、ということ。

(事務局)

市政だよりに「安全・安心の活動」として自転車の鍵かけを特集しました。区民会議の課題は広報できるので、区民会議でこういう議論をして、検討していますという形で、区民会議の広報を使わせていただきたいと思います。年に1回、特別号を出していますので、部会で検討して、こういう現状があって、こういう取組をしようとしていることを掲載して、知っていただきたいと思います。

2. その他

(松世部会長)

次回の安全・安心・生きがい部会の日程は、できれば夜やっていただけるとありがたいです。次回の予定は、まだ未定。たくさんの御意見ありがとうございました。